

☆夢ある！通信☆

第二号 2005. 12. 11

名古屋演劇鑑賞会のみなさん、こんにちは。
今日、劇団の稽古場がある東京都稲城市では、雪がちらつく寒さとなりました。みなさんの地域では「初雪」もう降りましたでしょうか？
さて、今日も早速、稽古場の様子を覗いてみましょう…。
な、なんと！みんな汗を流し、半袖でダンス稽古をしています！冬だと思えない風景です。では今日は、そんなダンス稽古の様子をレポートします！！



「さあ！踊ろう。カンカン！」
今日の1曲目は、主人公の久美が生まれて初めて観たミュージカル『パリの踊り子』のナンバーです。
通称『カンカン』 カンカン=フレンチカンカンとは19世紀後半にパリで流行った踊りで長いスカートをまくりあげ、足を上げ早いテンポで踊るショーダンスです。

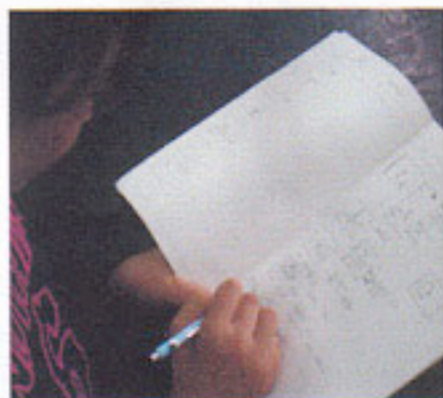


「パリの踊り子」のワンシーン



振付の吉田潔さん(晃役)に指導を受ける様子。

みんな笑顔で踊っていますが、この曲、実は相当エネルギーがいるようです。
「夢があるから！」の中でも一番大変とか…。
それもそのはず、この華やかな衣裳なんと、2.4kgもあるんです。(でも稽古ではまず、稽古用のスカートで練習します。)



←まゆみ役の中村さん。
一生懸命何かを書き取っている様子。
ダンスのポジションを書いているようです。
群舞では細かくフォーメーションが決まっているので、後で確認できるようにメモを残します。
こういったポジションは舞台のサイズによっても変わるので、毎回本番前に全員で確認をします。



「ゲーム イズ オーバー」
中川久美先生振付のダンスナンバー。



さて、まだまだ稽古は続きますが、今日はこの辺で失礼致します。
次回は立ち稽古の様子をレポートいたします。お楽しみに！！